

団結して難局を乗り越えていく



第71回地方大会終了 運動方針確立・全議案を承認



No. 2726
2016年10月10日
発行責任者 大沼 元
編集責任者 武田 昌仙

地方本部は第71回定期地方大会を9月25・26日の両日、松島町において開催した。大会では、労働条件改善、安全問題、組織強化拡大、17春闘など諸課題について議論が行われ、運動方針など全議案を承認、決定した。

大会概況

大会一日目

大会は歌川副委員長の司会で始まり、代議員定数26人中24人の出席を確



地本大沼委員長

▼震災と復興。東日本大震災から5年半経過。公共交通企業の労組としてできる被災者支援を継続していく。今なお約10万人が県内外で避難、仮設生活を強いられている。被災線区の再建は、自治体・住民の理解を得て再建と本格運行を求め。常磐線16年中に仙台から原ノ町へ。気仙沼線は鉄路での復興をJRが断念、BRTに。只見線は4つの再建案が示され協議中。関係個所と連携し対応をしていく。

認して大会の成立を承認。議長団には、議長に安戸（宮城）、副議長には山田（福島）両代議員を選出した。

地本を代表しあいさつに立った大沼委員長は、

▼政治状況。参議院選は、自公与党圧勝、自民単独過半数、改憲勢力の三分の二を許した。多くの国民と我々の優先課題とがい離、総括が求められる。宮城、福島、山形では野党統一候補を推薦し勝利。成果と課題を次期衆院選挙に活かす。

職場に労働運動を

安全保障関連法が成立し一年経過。戦争法の廃止に向け今後も粘り強く取り組む。

▼組織強化拡大。目標は多数派組合だが現実には少数。要求の多数派から組織の多数派へ、あらためて確認したい。この一年間で、地本9人、エリア

9・5 フクシマ交流事務局会議
9・10 各支部組織部長会議
9・11 東日本ゴルフ大会
9・17 秋田地本・山形県支部不当配転者交流会

国労の旗のもと団結して難局を乗り越えていく決意を代議員・関係者に訴えた。【左記に要旨】
来賓として東日本本部を代表し菊池委員長からは、安民法制をめぐる闘いをはじめとした諸課題等について報告と提起がされた（二面参照）。
議事に入り、決算・協定・経過について質疑はなく、拍手で承認された。一時休会し、地方労働講座を挟んで機関紙表彰を行い一日目の議事は終了。

大会二日目

運動方針に対する質疑では17人が発言。代議員の発言を受けての書記長集約が行われ、全体の拍手で運動方針が承認された。スト権一票投票では出席代議員25人（欠席1人）中、賛成24人、反対1人で

不起訴であり一定の事故処理は終了したが、地本は再度原因と安全対策を支社に求めていく。
安全・安定輸送の確立と職場労働条件改善の闘いは、労働組合の生命線。安全・サービスの後退、行き過ぎの効率化・合理化には反対の運動を提起していく。

▼安全・安定輸送確立。昨年11月に大型重機に挟まれた組合員が労災死亡した事故から10ヶ月経過。育英義援金の協力を感謝する。一周忌を目前に遺族へ届けたい。事故原因の特定はないが、機械点検時のエンジン稼働が労安法違反との指導が仙建に。関係者についても

「駅あり」「設備メンテ」「車両メンテ」等各施策の問題や課題は深まっている。職場実態から改善運動・労働運動を作り上げていく。
▼エルダー先での直接交渉。不十分だが一部窓口が作られた。36協定締結をめぐる代表選挙の取組みも実施。窓口間の信頼を高めつつ、労使間の取り扱いに関する労働協約締結を目指す。

9・19 戦争法廃止！9・19国会正門前行動
9・22 さようなら原発・さようなら戦争大集会
9・25-26 第71回定期地方大会
9・28 16年度冬期対策提案

スト権を確立。役員改選では会計監査員一人が交代。大会宣言の採択後、閉会のあいさつは中島副委員長が行い、大沼委員長の団結がんばろうで終了した。
※代議員の発言については別途機関紙に掲載する予定【昌】

地方委員

宮城県支部

- 加藤 幹男 (仙台運輸区)
- 安戸 康 (仙台保線区)
- 伊藤 稔 (仙台建築)
- 阿部 義広 (仙台電力区)
- 千葉 覚 (仙石線駅連)
- 長谷川 義浩 (貨物宮城)
- 家子 榮悦 (小牛田運輸区)

福島県支部

- 山田 明彦 (福島地区)
- 千葉 敏弘 (郡山駅連)
- 橋本 好衛 (貨物福島)

郡山工場支部

- 渡辺 貞治 (車体科)

仙台総合車両支部

- 伊藤 清志 (運転)
- 鈴木 英弘 (車体)
- 山口 智 (車体)

東北自動車支部

- 岩崎 宏 (青森)
- 山形県支部
- 青砥 淳泰 (新庄連合)

地方本部役員

執行委員長

大沼 元 宮城

執行副委員長

中島 利彦 宮城

書記長

原子 清貴 仙

執行委員

- 曾我 浩之 宮城
- 武田 昌仙 山形
- 佐藤 勝 宮城
- 五十嵐 敬 福島
- 千葉 弘 宮城

東日本本部 菊池委員長

あいさつ要旨

▼平和と民主主義。自民圧勝、参議院での改憲発議可能に。8月に第三次安倍改造内閣発足。働き方、同一労働同一賃金、長時間労働の是正を検討の一方で残業代ゼロ、基本法改悪、臨時国会での立法化を目指している。改憲に向けた動きも強められている。働く者の団結で安倍政権の暴走を許さない。

▼東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から5年半経過。今も福島県

来賓あいさつ

(挨拶順・敬称略)

- ☆社会民主党 辻 隆一
- ☆日本共産党 天下みゆき
- ☆宮城県平和労組会議 佐々木俊彦
- ☆東北労金宮城県本部 佐藤 隆雄
- ☆退職者の会仙台台連 沼下 清一
- ☆全交共済生協 橋本 昭二
- ☆国労東北協議会 伊賀 泰
- ☆国労議員団 佐々木 力
- 石川 建治
- 松崎 新
- 長沢 勝幸
- 菊池 忠志

民9万人以上が避難生活。常磐線全線開通をオリピック開催に合わせて復興をアピールする政府方針だが課題が山積。働く者の安全と安心の確保に向け仙台・水戸と連携し、取組みを強める。伊方・高浜・川内等再稼働が進められており反対の取組みに全力を。

▼組織強化・拡大。一括和解以降219人、昨年は東日本で28人が加入。しかし拡大を大幅に上回る退職者。組織は待つたなしの状態。

最大の差別と言われた昇進差別だが、現在は千人超の主任職、30人近い助役・専任職の発令。若手が国労を選択するにいたり、差別や偏見のない組織であること、職場の中心に国労が座っている証だと考える。関連会社の仲間の組織化に向けた取組みの強化を。

一日も早く懸案事項の解決を!

秋田・山形

9月17日、新庄市内において、山形地区不当配転者交流集会所が開催された。この取り組みは、国鉄分割・民営化を前後して秋田県内から山形県内に強制配転された仲間達を激励し、また一日も早く地元や希望する勤務地へ戻るよう、秋田・仙台地方本部の取り組みを確認する場として毎年開催されている。

会では各地区や分会ごとに参加者全員の紹介がされ、それぞれの近況報告に対し激励と笑いに包まれて盛会の内に散会した。

※参加された皆さん (敬称略・順不同)

会は新庄地区協議会若野議長の開会挨拶で始まり、続いて主催者を代表して山形県支部原田委員長が、会の前段に当事者を交えて東日本本部、各地方本部が会議を持ったことを報告し、その中で「精度を上げた異動希望者リストを作成し、改めて本社・支社への要請をする」ことを確認したと報告した。

また来賓のエリア本部佐藤書記長は、「支社跨りの配転問題は、一括和解以降強く改善を求めており、労働協約の改訂交

- 原田好太郎
- 相馬 厚
- 能登井康夫
- 青砥淳泰
- 菊池浩之
- 山口恒好
- 小松田良司
- 後藤重文
- 高橋芳美
- 宮崎和孝
- 小嶋敏明
- 柴田 哲
- 佐藤博之
- 山本文英

▼安全・安定輸送確立。重大インシデントが続いている。問題改善に向けた取組みを強化する。

労働条件に関する協約改定要求、エルダー制度、労働契約法20条についても申し入れ実施。貨物の要求、関東貨物協と連携し取組みを進めている。

全ての取組みを通し組織拡大に結実させること。全組合員が共通の認識として取組みを進めよう。

前回ゴルフトーナメント交流前 国労東日本本部



交流前夜祭で、仙台地本の代表として紹介される各氏

第4回国労東日本本部ゴルフトーナメントが9月12日、栃木県宇都宮市サンヒルズカントリークラブで開催されました。

トーナメントは、各地方本部の腕自慢のゴルフファーストが参戦し全13チームで熾烈な戦いを繰り広げた結果、仙台チームは第5位(4人合計367)と健闘しました。

仙台地本チーム(小野孝一、菊池浩喜、小林秀男、村上晃一組合員)で15年10月開催仙台地本ゴルフ大会成績上位4人は、小野・菊池・東京八王子2名と小林・村上・上野2名の4人一組で競技し、素晴らしい成績で上位入賞しました。

閉会式では、東日本本部佐藤書記長が、「最重要課題である組織強化・拡大の取り組みに弾みを

- 個人成績
- 優勝 神奈川地区本部 石川 隆さん(40・37)
- 準優勝 水戸地本 中村賢一さん(42・39)
- 第3位 大宮地区本部 酒井 隆(42・40)
- 仙台地本
- 第14位 菊池浩喜さん(46・43)
- 第15位 村上晃一さん(46・44)
- 第17位 小林秀男さん(45・45)
- 第34位 小野孝一さん(48・50)

今年も上位入賞! 練習の成果を発揮

つけて全力で頑張ろう」と締めくくりました。

【弘】

団体成績

- 優勝 大宮地区本部 (グロス4人合計349)
- 準優勝 神奈川地区本部 (同353)
- 第3位 水戸地本 (同356)

戦争法は絶対廃止!



戦争法強行一年。国会前には国労組合員も結集した

国会前に2万3千人

「戦争法」といわれる安全保障関連法が昨年9月19日に強行採決されて一年。国会前には戦争法廃止を求める市民や労働者ら約2万3千人が結集し、抗議の声を上げた。仙台地本からも参加者があった。

集会の主催者は、戦争をさせない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会。同委員会は、戦争法廃止を求める署名活動や大衆的な運動を軸に、先の参議院選挙では4野党統一候補の実現に向け一翼を担った。

【昌】